

仙台管区気象台と包括的連携協定を締結しました（2024/9/5）

テーマ：仙台管区気象台との包括的連携協定
会場：災害科学国際研究所 多目的ホール

東北大学災害科学国際研究所（IRIDeS）と仙台管区気象台は、包括的連携に関する協定を締結しました。9月5日（木）に当研究所で締結式を実施し、報道関係者に公開しました。

協定のポイントは次のとおりです。

- ① 平時から、BCP 訓練、調査・研究、普及啓発などにおいて連携・協力する。
- ② 災害発生時には、仙台管区気象台の庁舎が被災して業務継続が難しくなった場合、IRIDeSの施設や機材の一部を仙台管区気象台が借用する。また、気象状況や災害状況などの情報を共有し、互いの業務に活用する。

仙台管区気象台の庁舎周辺には、長町一利府線断層帯という活断層があり、地震等で庁舎が使えなくなった場合の代替庁舎として、断層帯から離れた位置にある当研究所の建物に白羽の矢が立ちました。具体的には、災害時に気象庁職員が市町村などを訪問して支援にあたる「気象庁防災対応支援チーム（JETT）」の派遣拠点となることが想定されています。

当研究所と仙台管区気象台は今までも、セミナーや勉強会の開催、自治体や学校への支援における意見交換などで連携・協力を重ねてきました。今後さらに連携を深める目的で、被災時の代替庁舎提供を含む包括的な協定の締結に至りました。

締結式では、当研究所の栗山進一所長と仙台管区気象台の加藤孝志台長が協定書に署名しました。当研究所のキャラクターである「さいがい犬イリ」、東北大学広報活動キャラクター「研一」、気象庁マスコットキャラクター「はれるん」も記念撮影に加わりました。



（左から）気象庁マスコットキャラクター「はれるん」、仙台管区気象台の佐藤淳地域防災推進課長、分木恭朗業務課長、加藤寿明危機管理調整官、塚本尚樹気象防災部長、加藤孝志台長、当研究所の栗山進一所長、越村俊一副研究所長、小野裕一副研究所長、佐藤健防災実践推進部門長、木戸龍輔事務長（手元に IRIDeS キャラクター「さいがい犬イリ」、東北大学広報活動キャラクター「研一」）